

Combi

コンビ チャイルドシート クルムーヴ コンパクトシリーズ

取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は本体シートカバーの右側面のポケットに保管してください。(5ページ参照)
- 品質保証書に、必要事項をご記入ください。

本製品は、UN R129/03において認可された特定車両ISOFIXチャイルドシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。
ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書を確認してください。

ご使用の向き	お子さまの条件
後向き	身長：40cm～105cmまで
前向き	身長：76cm～105cmまで かつ 月齢15ヵ月以上

※体重が19kgを超えるお子さまには使用できません。



⚠ 危険

お子さまの身長が76cmかつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使用しないでください。

お使いいただく前に

車への取り付け・
取りはずし

各部の使いかた

お手入れ・その他

⚠ 注意

お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

お使いいただく前に

お使いいただく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	7
取り付けできる座席	9
取り付けできない座席	10
安全にお使いいただくために	11

車への取り付け・取りはずし

取り付け準備	19
車への取り付けかた	21
取り付け完了チェックのしかた	24
車からの取りはずしかた	25

各部の使いかた

リクライニングのしかた	27
回転のしかた	29
幼児肩ベルト位置の調節のしかた	33
お子さまの座らせかた	35
お子さまの降ろしかた	38
インナークッションの使いかた	39
ベースカバーの使いかた	41
幌の使いかた	42
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	45

お手入れ・その他

お手入れのしかた	47
保管・廃棄のしかた	48
品質保証書	49
お問い合わせ先	裏表紙

お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

〈中古品のご使用について〉

- 使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
 ワンポイント	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

●ご使用前に「品質保証書」に次の項目を記入してください。

①製品名とロットNo.（幼児ベルト収納カバー裏側に貼ってあるシールに記載されています）

②お客様のお名前・ご住所・電話番号

③販売店名

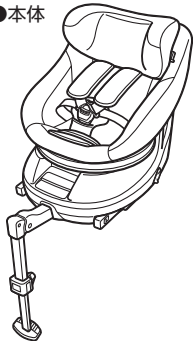
●レシート（領収書）を本書といっしょに保管してください。

※ 本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※ シートカバー・インナークッション・幌・肩ベルトカバーなどは製品により仕様は異なる場合があります。また、製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

梱包内容

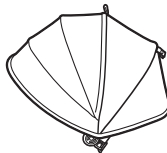
●本体



●インナークッション



●幌



●ベースカバー

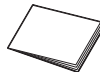
「後向き」時に使用します。



●ISOFIX キャップ



●取扱説明書
（本書）



●お客様登録カード



正面

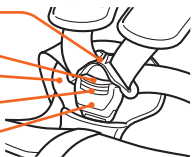
差込タング (マグネット)

バックルボタン

股あてパッド

差込表示

バックル



※タングが通り抜けてしまうときは、タングストッパーを折り返してください。



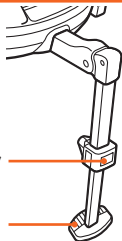
タング
ストッパー

側面

サポートレッグ

ロック解除ボタン

レッグエンド



コネクター
コネクターハンドル



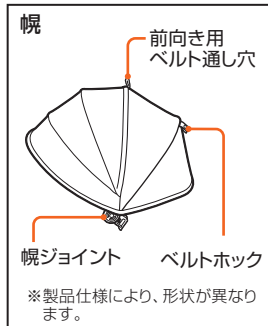
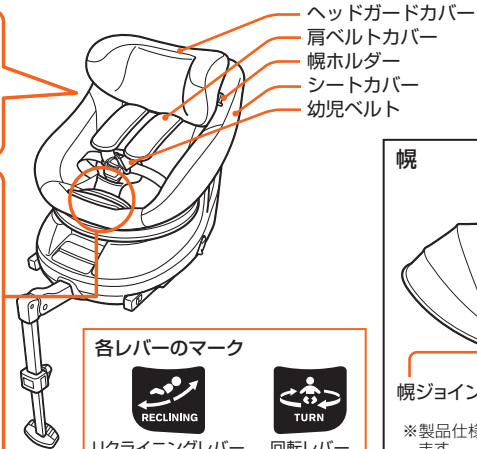
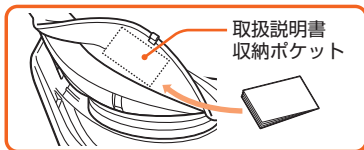
コネクター解除レバー



インジケーター (緑:ロック)

各部のなまえ

正面



背面

ヘッドガード
調節レバー

幼児ベルト
収納カバー

製品名/ロットNo.

インナークッション

サイドパッド

ヘッドパッド

本書で使われる「本体」「シート」「ベース」「ヘッドガード」とは、下記の部位をいいます。

ヘッドガード

シート

ベース

本体

サポートレッグ

ご使用の条件

ここでは、お子さまの身長によるシートの向き、インナークッションの使用条件などを説明しています。

後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)

お子さまの条件	インナークッションの使用条件		
身長40cm → 身長105cmまで または体重19kgまで	使用する		使用しない
	身長 40cm ～ 65cm 未満の場合	身長 65cm ～ 75cm までの場合	身長 75cm を超える場合
		お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる	
	※ インナークッションは製品により仕様が異なる場合があります。 ※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。		
危険 お子さまの身長が76cm かつ月齢が15ヵ月以上になるまでは、前向きで使 用しないでください。 ワンポイント お子さまの足が車両背もたれにあたるなど、後向きでの使用が体格に合わないと感じた場合は、前向きで使 用してください。			
警告 必ずインナークッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。  幼児肩ベルトの位置について インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。 			

前向き(進行方向に対して前向きに取り付け)

お子さまの条件

身長76cm以上
かつ月齢15ヵ月以上

身長105cm
または体重19kgまで



危険

お子さまの身長が76cm
かつ月齢が15ヵ月以上
になるまでは、前向きで使
用しないでください。

インナークッションの使用条件



使用禁止

幼児肩ベルトの位置について

幼児肩ベルトがお子さまの
肩と同じか、肩より高い位
置になるように調節して使
用してください。



取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。

ただし、ISOFIX 取付金具（バー）を装備した全ての車両に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIX サイズクラスに適合しているか確認してください。車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

www.combi.co.jp/childseat/seat_search/

コンビ 適合

検索



本製品の ISOFIX サイズクラス

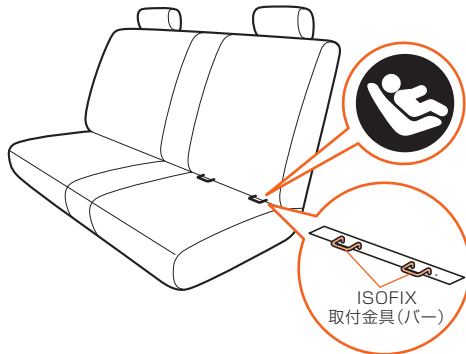
チャイルドシートの向き	固定具
後向き	R1、R2、R3
前向き	F3※

※後向きでヘッドガードの位置を高くしたときに、前座席にあたる場合があります。その場合は、前座席の位置を調整してください。

※前向きでリクライニングを1番立てた状態以外で使用するときは、全ての車両に取り付けられるものではありません。

ISOFIX 取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座席の間に装備された金具（バー）です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。



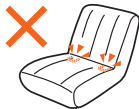
ISOFIX
取付金具（バー）

取り付けできない座席

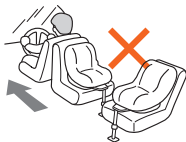
次の条件のいずれか1つでもあてはまる場合は、その座席ではお使いいただけません。

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合には使用しないでください。

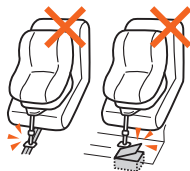
- ISOFIX 取付金具（バー）が
装備されていない座席。



- 進行方向に対して横向き、
または後向きの座席。



- サポートレッグの先端部に座席
のスライドレールや床下収納ス
ペースなどがある座席。



- フロントエアバッグ
装備の座席。
※ サイドエアバッグのみの
場合には使用できます。



- 座面の凹凸が極端で、
取り付けたときに不安定に
なる座席。



- 床に対して座面が低い座席または高い座席、床の形状など
により、サポートレッグを正しく設置できない座席。



安全にお使いいただくために

⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けしないでください。必ずサポートレッグを出して、長さを調節してください。



- フロントエアバッグ装備の座席では、使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。

⚠ 危険

- お子さまがチャイルドシートの上に
立ったり、中腰、正座をしないように
注意してください。



- チャイルドシートのシートが車両
ヘッドレストにぶつかってリクライ
ニングや回転の操作ができない、また
はロックできない場合があります。
車両ヘッドレストが取りはずせる場
合は取りはずし、取りはずせない場合
は他の座席に取り付けてください。

⚠ 緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護
者のかたがバックルボタ
ンを押し、すみやかにお
子さまを車外に脱出させ
てください。



安全にお使いいただくために

警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です

- 幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- バックルにゴミ・飲食物などが詰まって確実に差し込めない場合、または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因となります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- 調節ベルトがシートカバーに固定されていない状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



警告

- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- お子さまがチャイルドシートに座っていないときでも、必ずコネクターで固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



- 緊急時に同乗者の脱出のさまたげになる座席には、チャイルドシートを取り付けしないでください。



- タングの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品にさせないでください。

- タングを差し込む際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

- タングの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないこと確認してください。

- 磁気による損傷を受けやすいものは近づけないでください。（磁気カード、腕時計、電子機器など）

安全にお使いいただくために

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です

- チャイルドシートを**車両のシート可動部**や**ドアにはさまない**ように、**十分注意**してください。



- 直射日光があたると、本体や差込タンクなどが熱くなり、お子さまが**ヤケド**をする**おそれ**があります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 固定されていない物を車内に置く**場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたる**おそれ**がありますので、**十分注意**してください。



- 走行中は**、チャイルドシートの操作や**調節をしない**でください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。

- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、**転倒してけがをするおそれ**があります。本書に記載されていない**使いかたをしない**でください。



- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材は**はずしたまま使用しない**でください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、**十分注意**してください。



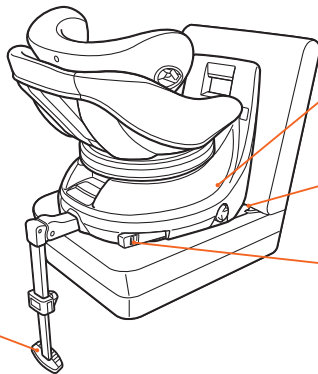
- 座席の表皮素材(革など)や形状によっては、**座席に傷や跡がつくおそれ**があります。

- お子さまを乗せた状態で、**取り付け・取りはずし・持ち運びはしない**でください。

⚠ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

車への装着(イラストは後向き使用例)



チャイルドシートが車両座席にしっかりと固定されていること(ベースを前後左右にゆすり、確認してください)

コネクターが車両のISOFIX取付金具にしっかりと固定されていること

コネクターのインジケーターがロック状態(緑色の表示が見える状態)になっていること

レッグエンドが床につくように、サポートレッグの長さが調節されていること

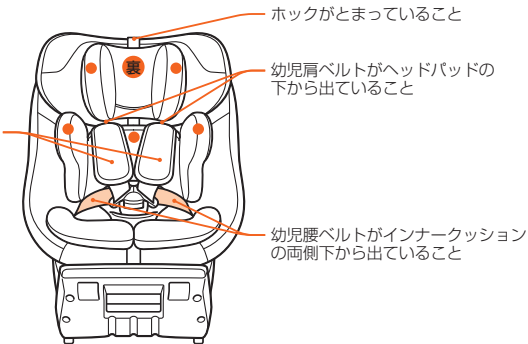
安全にお使いいただくために

⚠ 日常の点検

幼児ベルト・インナークッションの装着
(イラストは後向き使用例)

● 部分にウレタンやクッションが入っていること

肩ベルトカバーが装着されていること

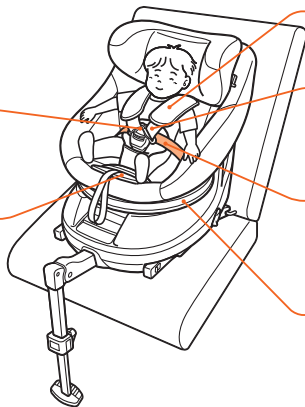


⚠ 日常の点検

お子さまの着座(イラストは前向き使用例)

差込タンクがしっかりとバックルに差し込まれ、差込表示が「緑色」に変わっていること

回転／リクライニングのレバーが正規の位置に戻っていて、シートが確実に固定されていること



幼児ベルトが正しい位置に調節されていること
首に近いところを通り、開きすぎていないこと

幼児ベルトがお子さまの体にフィットしていること
(調節ベルトを引いてフィットさせてください)



- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず**幼児腰ベルトを低く下げる**こと

回転／リクライニング操作後、シートがロックされ確実に後向きまたは前向きになっていること

取り付け準備

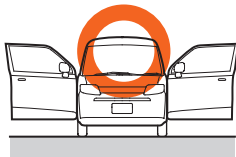
危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- 本製品は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。
- サポートレッグを収納状態のまま、取り付けないでください。

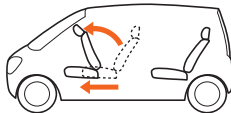
下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、ご確認ください。
www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html



- 1 ① 取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。

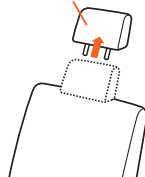


- ② 車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせてから取り付ける。

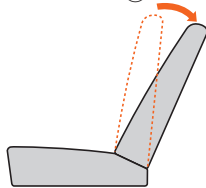


- 2 ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。
※ 取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。
- ② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

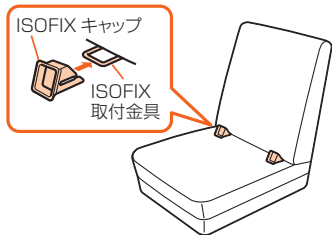
- ① 車両ヘッドレスト



- ②



3 ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ワンポイント



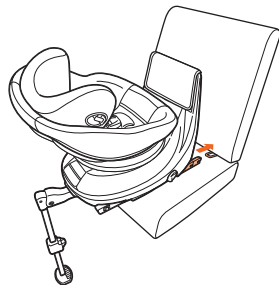
ISOFIX取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによっては取り付けるとベース背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



ワンポイント



シートは、後向きと前向きの2通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは同じです。



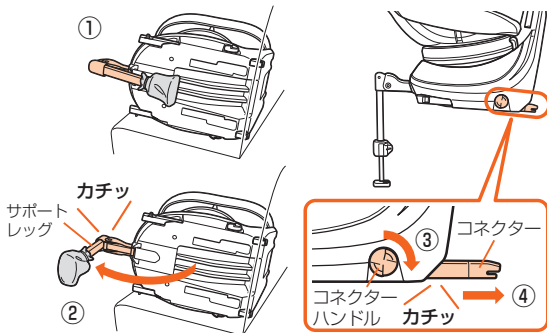
車への取り付けかた

車両の取扱説明書で ISOFIX 取付金具の装備された座席と金具の位置を確認してください。
本製品は、後向きと前向きの 2 通りの使用方法がありますが、取り付けかたは同じです。

- 1**
- ① 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は取りはずし、(19ページ参照)
 - ② 車両背もたれがリクライニングできる場合は、できるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調整してください。



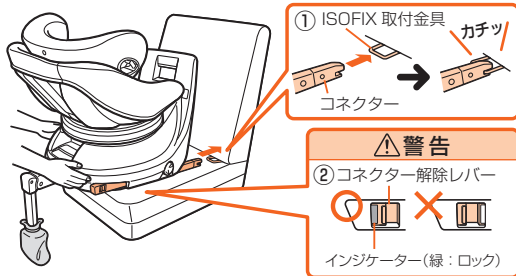
- 2**
- ① 作業スペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
 - ② サポートレッグを「カチッ」と音がするまで引き出す。
 - ③ 本体を起こして本体側面のコネクターハンドルを回しながら
 - ④ 左右のコネクターを最大まで引き出す。



警告

サポートレグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。本製品を移動する際には、サポートレグが自重で自動的に伸びるため注意してください。さらにサポートレグで手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

- 3** ① 左右のコネクターを車両のISOFIX 金具に「カチッ」と音がるまで差し込む。
② 左右のインジケーターが「緑色」になっていることを確認する。



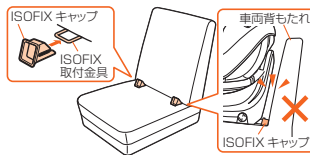
ワンポイント



ISOFIX 取付金具が車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIX キャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両シートによってはISOFIX キャップを取り付けると本体背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、ISOFIX キャップを使用せずに取り付けてください。

取付方法

ISOFIX キャップの溝にISOFIX 取付金具がはまるように差し込む。

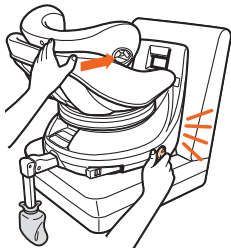


車への取り付けかた

4 本体背面が車両背もたれに接するよう、左右片側ずつ調節する。

① シートの側面を持ち、コネクターハンドルを回して本体を押し、本体背面が車両背もたれに接するまで強く押し込む。
反対側も同様に押し込み、左右均等に車両背もたれに接するよう調節する。

② 再度インジケーターが「緑色」になっていることを確認する。

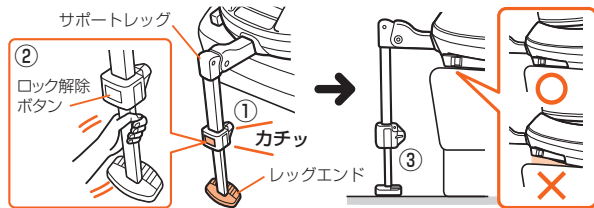


ワンポイント



車両によっては、しっかり押し込んでも本体背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。車両背もたれがリクライニングできる場合はできるだけすき間が小さくなるよう、リクライニング角度を調節してください。

- 5**
- ① 固定の袋を外し、レッグエンドを自重で車両の床まで伸ばす。
ロックボタンが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認する。
 - ② 実際に手で上下に動かしレッグエンドが縮まずに確実にロックされていることを確認する。
 - ③ サポートレッグの長さが長すぎて、本体が車両シートから浮いてすき間が発生していないか確認する。



危険

調節後は、サポートレッグのレッグエンドが必ず床についていることを確認してください。

ワンポイント



- レッグエンドが自重で床まで伸びずに止まってしまった場合は、ロック解除ボタンを押して手でレッグエンドが床につくまで伸ばしてください。
- レッグエンドを床まで伸ばしたとき、ロック解除ボタンから「カチッ」と音がせずロックされなかった場合には、レッグエンドを下に伸ばし最初に「カチッ」と音がしてロックした位置でご使用ください。

取り付け完了チェックのしかた

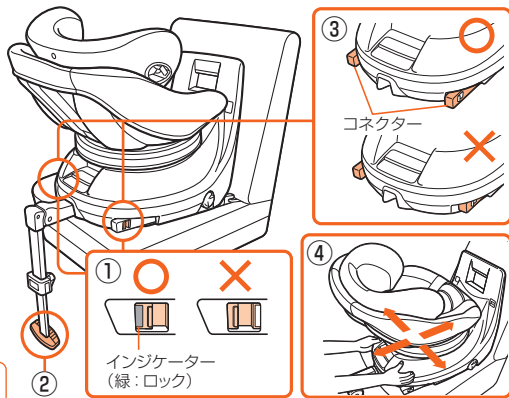
取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①インジケーターが「緑色」になっていること。
- ②サポートレッグのレッグエンドが車両の床につくように長さが調節されていること。
- ③コネクターの長さが左右同じ長さであることを確認する。
- ④ベースを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていることを確認する。
- ⑤本体背面が左右均等に車両背もたれに接しておらず、極端に進行方向に斜めに取り付けられていないか確認する。左右不均衡であったり、斜めに取り付けられている場合は、左右均等に車両背もたれに接するよう調節し、進行方向に対してまっすぐになるように調節する。

ご不明な点は、当社コンシューマープラザへお問い合わせください。

ワンポイント

車両によってはシートのひじかけなどがインジケーターを隠し、目視での確認が困難な場合があります。
その際は、ISOFIX 取付金具へコネクターを差し込み時に左右のコネクターが「カチッ」と音がするまで差し込まれたことを確認してください。その際にベースを持ち前方向に引っ張り、ベースが動かず左右差による斜め取り付けがなく、しっかり取り付けられていることを確認した後に、②③④の完了チェックを行ってください。



車からの取りはずしかた

- 1** 左右のコネクター解除レバーを引き、インジケーターがロック解除（「緑色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。



コネクター解除レバー



インジケーター
(緑：ロック)

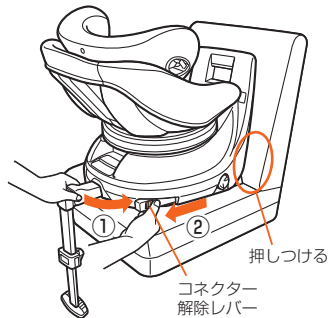
ワンポイント



コネクターの解除が固いときは

コネクターがきちんと取り付けられていると、車両シートの反発力により、コネクター解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両シートからの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ① サポートレッグを持って本体ごとコネクターを解除したい側の車両シートに押しつけ、
- ② 親指でコネクター解除レバーを引く。



押しつける

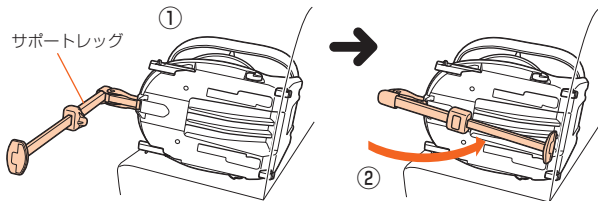
コネクター
解除レバー

2 ISOFIX 取付金具からコネクターをはずす。



3 サポートレッグを収納する。

- ① 作業スペースを十分に確保し、本体を横に寝かせる。
- ② 「カチッ」と音がするまでサポートレッグを折りたたむ。
(レッグエンドは伸ばした状態で作業してください)



警告

サポートレッグ操作時は、手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。本製品を移動する際には、サポートレッグが自重で自動的に伸びるため注意してください。さらにサポートレッグで手、指などをはさまないように注意してください。思わぬ重傷を負う可能性があります。

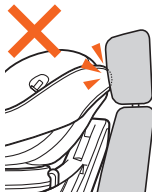
リクライニングのしかた

「後向き」および「前向き」使用時、お子さまの体重に関わらず、3段階に角度を調節することができます。

警告

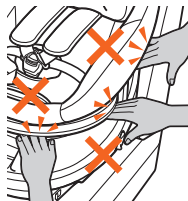
チャイルドシートのシートが車両ヘッドレストにぶつかってリクライニング操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



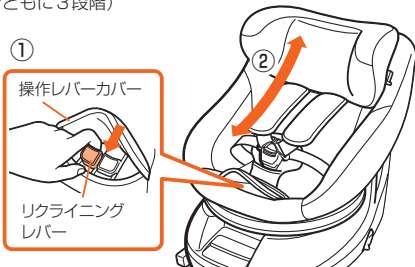
注意

- シートの背部やリクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、リクライニング操作をしないでください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース背面にある穴に入った状態でリクライニング操作をしないでください。
- 同乗者の手元にも十分ご注意ください。
- リクライニング操作は、必ず車を停車させて行ってください。
- 「回転レバー」と「リクライニングレバー」は同時には引けません。無理に同時に引くと故障の原因となります。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマーブラザまでお問い合わせください。



お子さまの様子にあわせて、3段階に角度を調節することができます。

- 1**
- ① 操作レバーカバー下にあるリクライニングレバー(左側)を手前に引きながら、
 - ② シートのリクライニング角度を調節する。(前向き/後向きともに3段階)



注意

- リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

- 2**
- レバーから指を離してシートを前後左右にゆすり、ロックされていることを確認する。



警告

操作後、リクライニングレバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

回転のしかた

どのリクライニングの角度でも、お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

⚠
危険

シートを横向きにしたまま走行しないでください。横向きでは、本来の機能を果たさず危険です。
(お子さまの乗せ降ろしのときのみ横向きで使用してください)



⚠
警告

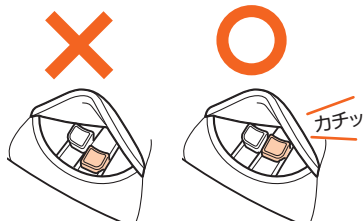
シートが車両ヘッドレストにぶつかって回転操作ができない場合があります。

- 無理に操作すると故障の原因になります。車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずしてご使用ください。
 - 車両ヘッドレストをはずしても操作ができない場合、その座席では使用しないでください。
- ※ ぶつかっていても無理なく操作できる場合は、その座席でもお使いいただけます。



⚠
警告

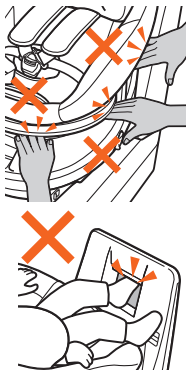
「回転」および「リクライニング」操作後には、レバーが「カチッ」と音が出て、元の位置に戻り、シートがロックされていることを確認してください。シートがロックされていない状態で使用しないでください。



お子さまの乗せ降ろしをしやすいするため、シートを回転することができます。

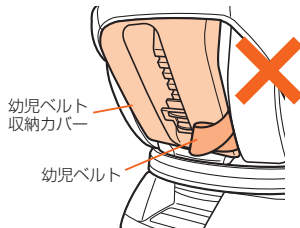
⚠ 注意

- ベース背面やシートの背面、リクライニングの下部のすき間に指や手などを入れたまま、回転操作をしないでください。
- お子さまを乗せた状態のときは、ゆっくりと回転させ、お子さまの手足が本体などにぶつからないよう、また、ベースとシートの間などにはさまれないようご注意ください。
- 「後向き」使用時、お子さまの足がベース背面にある穴に入った状態で回転操作しないでください。
- 「回転レバー」と「リクライニングレバー」は同時には引きません。無理に同時に引くと故障の原因となります。
- リクライニングおよびベースのすき間にゴミや飲食物などの異物が入ると故障の原因になりますのでご注意ください。回転およびリクライニング操作を行う際、動作不良が生じた場合は当社コンシューマープラザまでお問い合わせください。



⚠ 注意

- 幼児ベルトが幼児ベルト収納カバーからはみ出していないか確認してください。はみ出た状態で回転させると、回転部に巻き込まれ、故障の原因となります。幼児ベルトがはみ出ているときは、もう1度幼児ベルト収納カバーを開き、幼児ベルトを収納してください。
- 幼児ベルト収納カバーが確実に閉じていることを確認してください。開いた状態で回転させると、ベースにぶつかり、故障の原因となります。

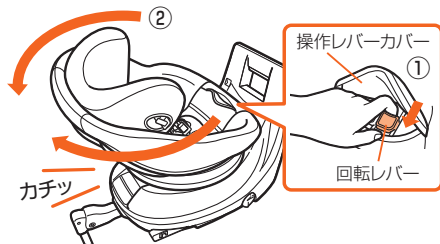


回転のしかた

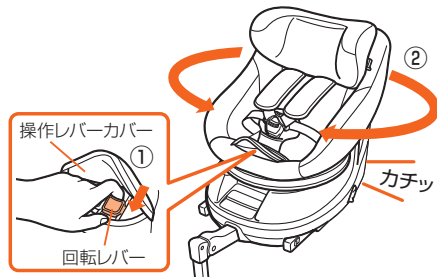
お子さまの乗せ降ろしをしやすくするため、シートを回転することができます。

- 1
- ① 操作レバーカバー下にある回転レバー(右側)を手前に引きながら、シートをまわす。
 - ② 動き始めたら回転レバーから指を離し、シートが「後向き」または「前向き」になると、「カチッ」と音がしてロックする。

●後向き



●前向き



危険

- シートを横向きにしたまま走行しないでください。本来の機能を果たさず危険です。
- 走行中は回転操作をしないでください。



注意

- 回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。
- ゴミや飲食物などが入ると故障の原因になりますのでご注意ください。

2 シートを前後左右に動かし、確実にロックされていることを確認する。

※ 回転構造上シートに遊びがあり、カタカタと音がしますが、問題なく使用できます。



操作後、回転レバーが「カチッ」と音がして、元の位置に戻り、シートが固定されていることを確認してください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります)

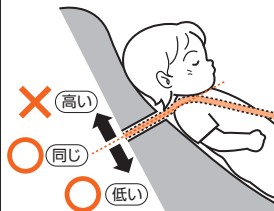
幼児肩ベルト位置の調節のしかた

お子さまの成長にあわせ、幼児肩ベルトの位置を変えて使います。幼児肩ベルトの位置は、8段階に調節することができます。はじめてご使用になる際も、必ず肩ベルトの高さをご確認ください。

幼児肩ベルト位置の目安

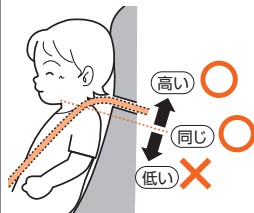
●後向き使用時

インナークッションの使用有無に関わらず、幼児肩ベルトの高さがお子さまの肩と同じか、肩より低い位置になるように調節して使用してください。

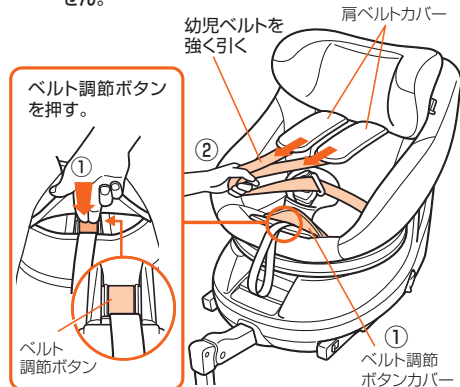


●前向き使用時

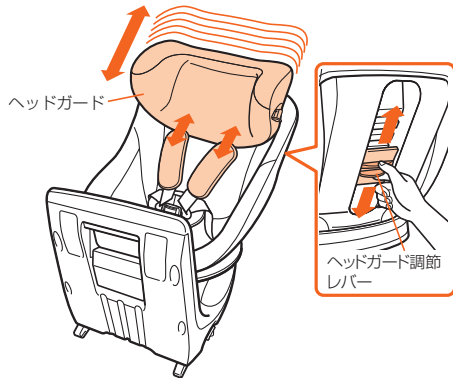
幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩より高い位置になるように調節して使用してください。



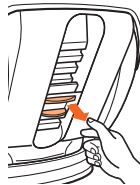
- 1 ① ベルト調節ボタンカバーをめくり、ベルト調節ボタン奥側を押しながら、
② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引きゆるめる。
※ 肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2** ① シートをまわして後向きにする。(31 ページ参照)
 ② ヘッドガード調節レバーを引き、ヘッドガードの高さを調節する。
 ※ヘッドガードに連動して幼児肩ベルト位置も上下します。



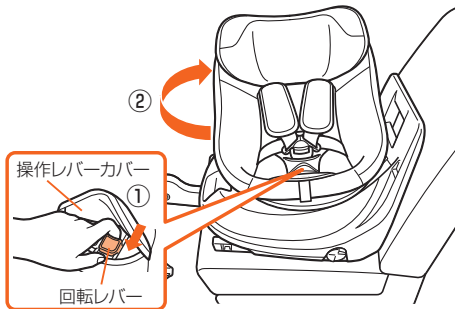
- 3** ① 適切な位置でヘッドガード調節レバーを離す。
 ② ヘッドガード調節レバーが戻っていることを確認する。
 ③ ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



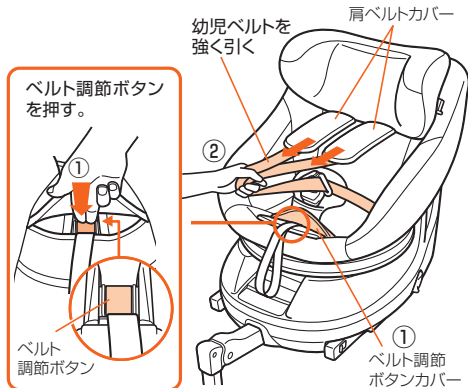
幼児肩ベルト位置(ヘッドガードの高さ)を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。
 お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置(ヘッドガードの高さ)を調節しないでください。

お子さまの座らせかた

- 1** お子さまを乗せやすくするため、
①回転レバー(右側)を手前に引きながら、
②シート正面をドア側にまわす。
※以降の手順では前向き状態で説明しています。



- 2** ①ベルト調節ボタンカバー下のベルト調節ボタン奥側を押し
ながら、
②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 3 ① バックルボタンを押し、差込タングをバックルからはずす。
 ② お子さまを深く座らせて、左右の腕を幼児ベルトに通す。
 ③ 左右の幼児ベルトがねじれていないか確認する。
 ④ インナークッション頭部後ろにあるクッションの位置を調節する。



- ③ 左右の幼児ベルトがねじれていないこと

②

インナークッション使用の場合には、以下にご注意ください。

- お子さまを深く座らせてください。
幼児ベルトなど正しい装着がしやすくなります。
- 股あてパッドを上に取り、バックルをしっかりと立ち上げてください。



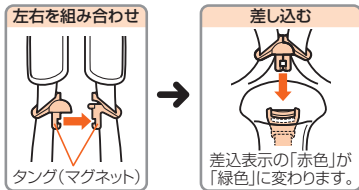
⚠ 警告

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。しっかりと拘束出来ない場合があります。
- おくるみなど、両足が分かれぬ衣類の着用はおやめください。
- お子さまをタオルなどでくるんだまま、座らせないでください。
- お子さまを座らせるときには、右図のような座らせかたをしないでください。チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



お子さまの座らせかた

- 4** ① 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまで、バックルに差し込む。
② バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



危険

- チャイルドシートの差込タングがしっかりバックルに差し込まれ、表示が「緑色」に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでインジケーターが「緑色」に変わらないときは、使用しないでください。

ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右の差込タングを組み合わせないと、バックルに差し込みません。

- 5** ① 幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと拘束するように、低く下げる。
② 幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。
③ 調節ベルトの上側を手前に引き、
④ お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。



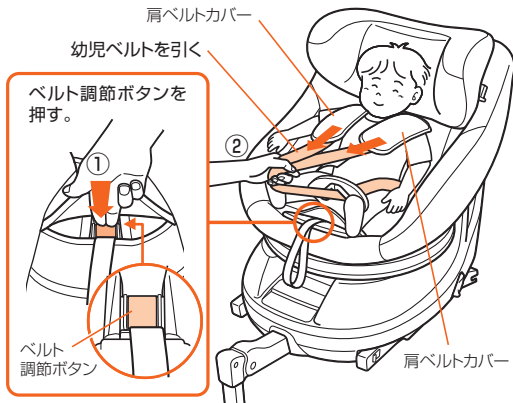
警告

必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

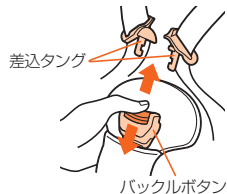
- 6** シートを後向き、または前向きにまわす。

お子さまの降ろしかた

- ①ベルト調節ボタン(奥側)を押しながら、
- ②左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に引きゆるめる。
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- ③バックルボタンを押し、差込タングをバックルからはずす。



- ④お子さまを降ろす。

インナークッションの使いかた

お子さまの身長によって使いかたが異なります。

後向き(進行方向に対して後向きに取り付け)

使用する

身長 40cm ~ 65cm 未満の場合

必ず**インナークッション**を**正しく取り付け**て、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。



警告



お子さまの体格や成長にあわせ、ベルトが窮屈に感じたときは、使用をやめる

※ インナークッションは製品により、仕様が異なる場合があります。

※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

使用しない

身長 75cm を超える場合



前向き

(進行方向に対して前向きに取り付け)



使用禁止



危険

インナークッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。

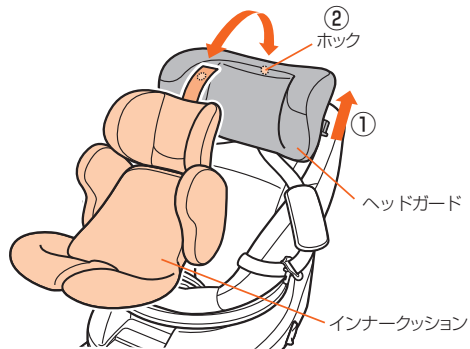


注意

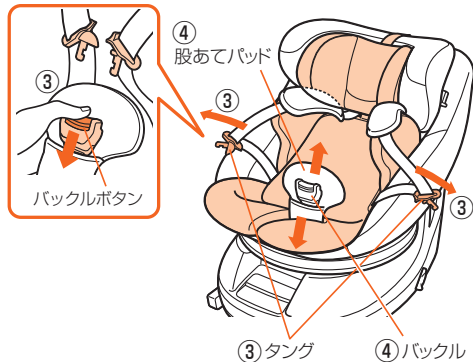
はずしたインナークッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。

インナークッションの取りはずしと取り付け

- ① ヘッドガードを引き上げる。(34ページ参照)
- ② ヘッドガード裏側にある1カ所のホックを取りはずし、または取り付けをする。



- ③ バックルボタンを押し、タングをはずす。
 - ④ バックル・股あてパッドを下に押し込む、または引き出す。
- ※インナークッションの正しい装着の確認は17ページ「日常の点検(幼児ベルト・インナークッションの装着)」を参照。

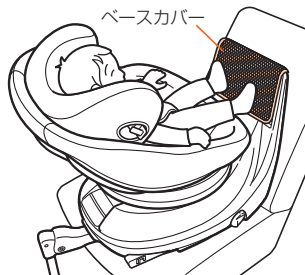


ベースカバーの使いかた

使用期間：「後向き」使用時

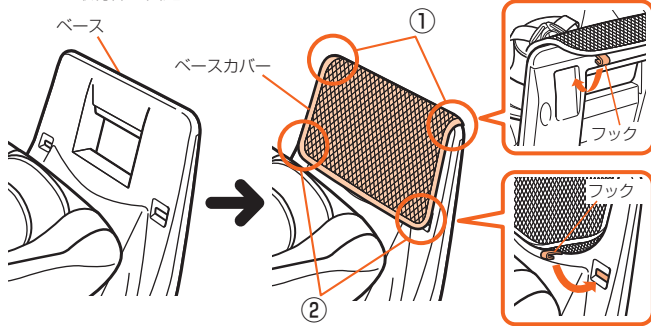
後向き使用の際、ベースカバーを使用し足を保護してください。

※ベースカバーを取り付けてから、チャイルドシートを車両座席に取り付けてください。



ベースカバーを取り付ける。

ベースカバーをベースにかぶせ、①上部のフック、②下部のフック、あわせて4つのフックを取付部に固定する。



警告

「後向き」使用時は、必ずベースカバーを使用してください。



注意

ベースカバーを取り付けない状態でベースを素足で蹴ったりこすったりすると、足にすり傷ができる場合があります。

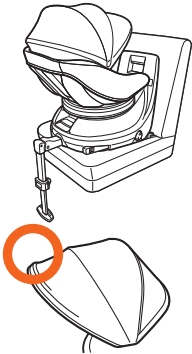
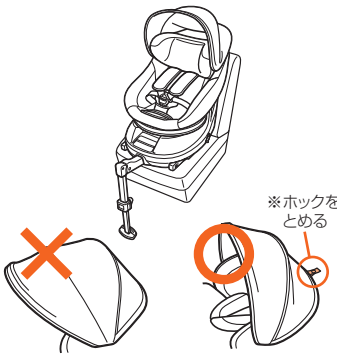
ワンポイント



「前向き」使用時にもお使いいただけます。

幌の使いかた

シートの向きによって使いかたが異なります。

後向き	前向き
	
すべて開いた状態で 使用可能 ※取りはずした状態でも 使用できます。	すべて開いた状態 では使用しないこと 小さくたたみ、「日よ け」として使用可能 ※取りはずした状態 でも使用できます。

警告

- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触するおそれがあり危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで使用するか、取りはずしてください。

注意

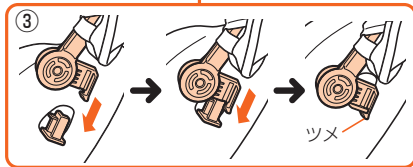
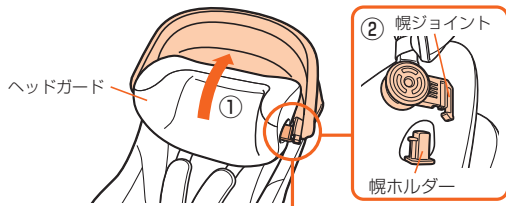
- チャイルドシートを持ち運ぶときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌に、おもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

※ 幌は製品により、仕様が異なる場合があります。
※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

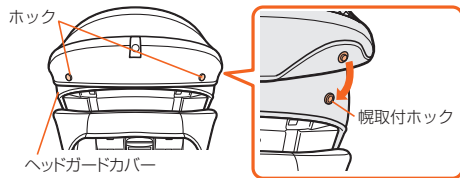
幌の使いかた (ジョイント固定タイプ)

幌の取り付けかた

- 1**
- ① 幌を小さくたたみ
 - ② 幌ジョイントをヘッドガード側面の幌ホルダーにあわせ、
 - ③ 幌ジョイントの下端のツメが幌ホルダーにかかるまでしっかり差し込み固定する。



- 2**
- ① 幌取付フックが見えるまで、ヘッドガードを引き上げる。(34ページ参照)
 - ② 幌背面の左右のフック (2 ヵ所) を、ヘッドガードカバーの幌取付フックに取り付ける。



- 3**
- 幌ジョイントが幌ホルダーにしっかり固定されており、幌背面の左右のフック (2 ヵ所) がヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認する。

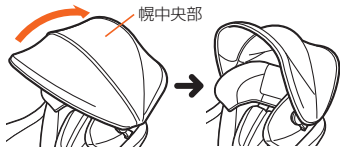
⚠ 警告 幌背面の左右のフック (2 ヵ所) が、ヘッドガードカバーに取り付けられていることを確認してください。

⚠ 注意 幌を開いたり小さくたたんだりするときは、お子さまや周囲の人にも気をつけて、指や手などをはさまないように注意してください。

お子さまの乗せ降ろしの際は、幌を小さなサイズにたたみます。

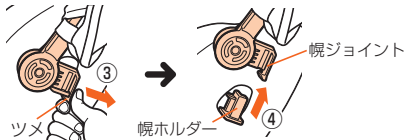
乗せ降ろしの際(小さなサイズにたたむ)

イラストのように、幌中央部を閉じる。



幌の取りはずしかた

- ① 幌を小さくたたみ、
- ② 幌背面の左右のフック(2カ所)をはずす。
- ③ 幌ジョイントの下端のツメを指先で引きながら、
- ④ 幌ホルダーから取りはずす。

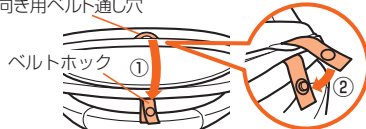


「前向き」使用時は、幌は、小さくたたみ幌上部のフックをとめて「日よけ」として使用できます。

前向きで使用する時(日よけとして使う)

- ① 幌を小さなサイズにたたみ
- ② 幌背面にあるベルトフックを幌上部にある前向き用ベルト通し穴に通し、フックでとめる。

前向き用ベルト通し穴



警告

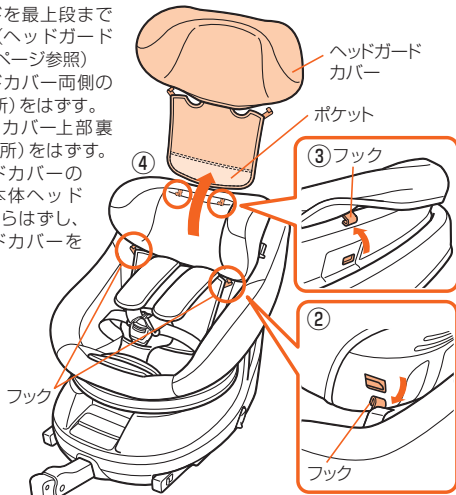
- 幌は、誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があります。
- 「前向き」使用時は幌は小さくたたんで幌上部のフックを閉じて「日よけ」として使用するか、ヘッドガードから取りはずしてください。
- 前向き使用時



カバーの取りはずしかた・取り付けかた

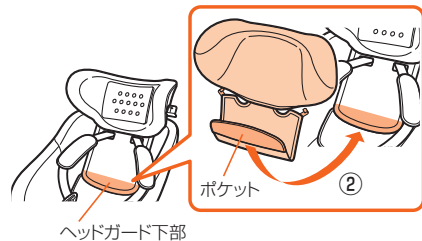
ヘッドガードカバーの取りはずし

- ① ヘッドガードを最上段まで引き上げる。(ヘッドガードの操作は34ページ参照)
- ② ヘッドガードカバー両側のフック(2カ所)をはずす。
- ③ ヘッドガードカバー上部裏のフック(2カ所)をはずす。
- ④ ヘッドガードカバーのポケットを本体ヘッドガード下部からはずし、ヘッドガードカバーを取りはずす。



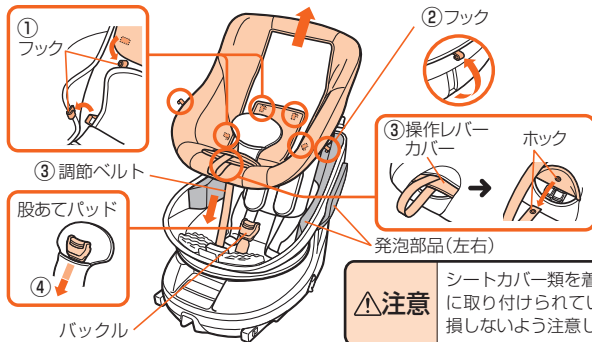
ヘッドガードカバーの取り付け

- ① ヘッドガードを最上段まで引き上げる。(ヘッドガードの操作は34ページ参照)
- ② ヘッドガードカバー下部裏側のポケットに本体のヘッドガード下部を入れる。
- ③ ヘッドガードにヘッドガードカバーをかぶせる。
- ④ ヘッドガードカバー上部裏のフック(2カ所)をとめる。(左図③参照)
- ⑤ ヘッドガードカバー両側のフック(2カ所)をとめる。(左図②参照)



シートカバーの取りはずしと取り付け

- ① 座面の奥側のフック(4カ所)をはずす。
 - ② シートカバーの外側のフック(2カ所)をはずす。
 - ③ 調節ベルト先端のフックを、操作レバーカバー裏側からはずし、調節ベルトを引き抜く。
 - ④ バックルを引き抜き、シートカバーを引き上げ取りはずす。
- ※ 取り付けは逆の手順になります。

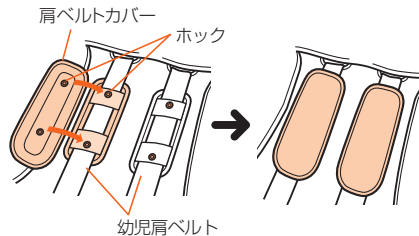


注意

シートカバー類を着脱する際は、本体に取り付けられている発泡部品を破損しないよう注意してください。

肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

フック(2カ所)を取りはずし、または取り付けをする。



※ 肩ベルトカバーは製品により、仕様が異なる場合があります。

※ 製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

お手入れのしかた

シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

- シートカバーに縫製されている洗濯ラベルに従い洗濯してください。
- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 水、またはぬるま湯で洗濯機の弱水流または手洗いしてください。
- 漂白剤は使用しないでください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせすることがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおすすめします。
- 十分にすすぎ、軽く脱水した後、形を整えて陰干ししてください。
- アイロン掛けはしないでください。
- 乾燥機の使用やドライクリーニングはできません。
- インナークッションを洗濯するときは、頭部と座面に入っているクッションを取りはずしてください。

幌のお手入れのしかた

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯につけたスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせすることがあります。

本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがありますが、品質上問題なく、安心してお使いいただけます。



中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトをいためるおそれがあり危険です。

保管・廃棄のしかた

保管のしかた

本 体

長期間使用しないときは、車から降ろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、シートカバーの収納ポケットに保管してください。(5ページ参照)

廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html

『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後8年」です。
標準使用期間を経過した場合、材料の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまねくおそれがあります。
不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシューマープラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名		ロットNo.		保証期間	
		(幼児ベルト収納カバー裏側のシールをご覧ください)		お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)	
お 客 様	お名前		お買い上げ日		
			年 月 日		
販 売 店	ご住所 〒		TEL		
	店 名		TEL		
修理メモ					

保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
 - 保証期間内（お買い上げ日より1年間）に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシューマープラザにお送りください。
 - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
 - (a) プラスチック部品の自然劣化による変色。
 - (b) シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
 - (c) お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
 - (d) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (e) 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - (f) 本書のご提示がない場合。
 - (g) 一般家庭以外で、業務用やレンタル等でご使用され故障した場合
 - (h) 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
 4. 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
 5. 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
 6. 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
 - 万一故障が生じた場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
 - 領収書（レシート）を本書と一緒に保管してください。
 - この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシューマープラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
 - 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

memo

Combi

コンビ
クルムーヴ コンパクト
シリーズ

コンビ株式会社

■ ホームページ
■ オンラインストア(部品購入窓口)

combi.co.jp
combi.co.jp/store

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシューマープラザにて対応いたします。

コンシューマープラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシューマープラザ (Customer Service Center) /西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

*コンシューマープラザホームページ combi.co.jp/soudan

196716000 24.9

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。